

7月24日

テーマ：神の子どもとされる特権

聖書箇所：ヨハネの福音書1章12節

◆今日のみことば

しかし、この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとされる特権をお与えになった。  
ヨハネの福音書1章12節

◆メッセージ

神さまはこの世界を造ってくださいました。そして、すべての生き物もその世界で生かしててくださいています。また、地上のすべての人も神さまによって生かされています。それでも、その神さまを認めている人はそれほど多いわけではありません。人間の心の中には罪があり、その罪が神さまを認めないようにさせているのです。しかし、罪を持ったままでは天国に行くことはできません。神さまは、人の罪をきよめるためにイエスさまを十字架につけてくださいました。そのことを信じる人は、神さまの子どもとしていただける、と聖書は教えています。



お父さんやお母さんは、子どもを愛しています。体も心も成長することを願い、見守り、支えます。必要な物も与えてくれます。悪いものから守ってくれます。子どもを育てている親は、子どもが幸せな生活をするのを願っています。神さまも、イエスさまを信じて「神の子ども」とされた人を愛して、守り導いてくださいます。祈りを聞いてくださること、正しい道に導いてくださること、すべてを益としてくださいます。また、親に似るように、「神の子ども」とされた人たちを少しづつ変えてくださって、イエスさまの心を持つようにしてくださいます。やがて、私たちの地上の生活はいつか終わるわけですが、その先も神さまは私たちに永遠の場所を天において用意してくださっています。神さまの子どもとされるということは、このようにすばらしいことなのです。もしも祈りがかなえられないように思えても、神さまが私たちが忘れていたのではありません。神さまはいつでも、「神の子ども」とされた人たちのことを心配し、良い道に導こうとしてくださっているのです。

◆お祈り

「神さま、『神の子ども』とされたことを感謝します。これからも、喜んで神さまに従うことができるようにさせてください。」  
(大泉聖書教会牧師 池田尚広)